

第3学年 国語科学習指導案

日 時	平成20年10月10日(金)
児 童	男子5名 女子7名 計12名
指導者	森 岩 郁 子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物がかせになろう」

2 子どもの実態

子どもたちは2年「たんぼぼのちえ」「サンゴの海の生きものたち」で時間の順序による説明のしかたや事例を挙げた説明のしかたについて学習しており、文脈に沿っておおよその内容を読み取ってはできている。また、3年上「ありの行列」でまとまりに気をつけて読む学習を通し段落・キーワード・つなぎ言葉・文末表現等に注目して分析的に読むこともできるようになってきている。

「書くこと」については、3年上「おもしろいもの、見つけた」で書きたいことを段落ごとにまとめて書く学習をしている。さらに本単元では分かりやすく伝えるための段落構成や表現の工夫について意識させていきたい。

音読については物語教材や詩の学習で、表現を工夫して読むことを得意としている子が多い。さらに教材を目的に応じて分析的に読む手立てとしての様々な音読の仕方を身に付けさせる必要がある。

3 単元について

本単元は「すがたをかえる大豆」と「食べ物がかせになろう」の2つの教材文で構成される、「読むこと」と「書くこと」の複合単元である。「身近な食べ物について興味を持ち知識を広げるとともに目的に沿って大事なことを読み取り、それを生かして自分で調べたことを文章にまとめる」ことをねらいとしている。

「すがたをかえる大豆」は身近な食べ物である大豆を題材にした説明文で、子どもたちは興味を持って内容を読み取ることが期待できる。また、段落構成やキーワードが捉えやすく「食べ物がかせになろう」という目的を持って読むことに適した教材といえる。2つの教材文を何度も比べたり、再読させたりすることにより、「読むこと」と「書くこと」の指導の相乗効果が期待できる単元であると考えられる。

4 指導にあたって

本単元では「すがたをかえる大豆」を読み取り(第1次)、その上で「食べ物がかせになろう」をもとに調べ活動をし(第2次)、それを発表原稿にまとめる(第3次)という学習活動を行う。

第1次では、「すがたをかえる大豆」の大まかな構成を捉えさせるとともに、伝え方の工夫に気付かせる(レベル1)。そのために段落ごとの部分読みによるキーワード探しや挿絵と対応したプレゼンテーション的な音読活動を取り入れ、第2次、第3次の学習につなげたい。また既習教材「ありの行列」との読み比べにより、説明的説明文の特徴をとらえさせたい。

第2次では「食べ物がかせになろう」をもとに自分でテーマを決めて調べ学習をする(レベル1、2)。その際は必要な情報を探すとともに情報に対する自分なりの感想をメモすることを指導し、自分が発信するための活動であることを意識づける。

第3次では集めた情報を整理し、文章にまとめる「書くこと」領域の活動を行う。この際本作りよりも教材を読み込み、それを自分の文章に生かすことをねらいとする(レベル3)。つまり読み取りの学習を通して身に付けた力を基に発信できるという学びの目的をイメージさせて取り組ませる。発表原稿も書いて完結でなく、音読→発表→交流(コミュニケーション)につなげたい。

5 学習指導目標

(1) 関心・意欲・態度

○身近な食べ物に興味を持ち、知識を広げようとする。

(2) 能力

◎中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読み、大豆を食べる工夫を正しく読み取ることができる。 【読むことイ、オ】

◎身近な食べ物について情報を収集したり選択したりして、分かりやすく文章にまとめることができる。 【書くことイ、エ】

○指示語・接続語や文末表現に注意して読み、段落の役割を理解することができる。 【言語事項オ(イ)】

6 指導計画【単元重点指導計画】 (17時間)

週	時	指導目標 ・主な学習活動 ※音読活動	評価規準		
			関心・意欲・態度	中心となる能力	言語事項
第1次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元の見通しを持たせ、これからの学習に意欲を持たせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・リード文を手がかりに「すがたをかえる大豆」の大体を読み取る。 ・「ありの行列」と読み比べ、解説的な文の特徴に気付く。 ・「食べ物はかせになろう」を読み、学習の見通しを持つ。 ※範読、リレー読み、自由読み	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆に興味を持ち、意欲的に読み取ろうとしている。(観察、発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読みのめあてをもち、大事なことは何かをつかんでいる。(発言、ノート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字、分からない語句を調べている。(発言、ノート)
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「すがたをかえる大豆」の要点を捉えさせるとともに書き方の工夫に気付かせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句を見つけ、形式段落①～⑨に小見出しをつける。 ・小見出しをもとに全体構成をとらえる。(はじめ、中、終わり) ※リレー読み、役割読み、自由読み	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の要点をとらえている。(音読・ノート) ・内容の中心を捉えて音読している。(音読) 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落の表記を理解している。(発言、ノート) ・指示語、接続語の使い方を理解している。(発言・ノート) 	
	3				
	4				<ul style="list-style-type: none"> ・「ありの行列」と読み比べ、はじめ、中、終わりの書き方の工夫に気付く。 ・「はじめ」「終わり」の役割と効果をノートにまとめる。 ※自由読み、役割読み、指名読み
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・③～⑦(中)の書き方の工夫を確かめる。 ・伝え方を意識して音読する。 ※自由読み、役割読み、ペア読み、指名読み			
第2次	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「食べ物はかせになろう」をもとに、テーマに沿って調べるための手順や方法を知らせ、情</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食べ物に興味を持ち、意欲的に調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて資料を探して読んでいる。(観察・発言・ノート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に辞書を活用している。(観察・ノート)

レベル 1 ・ 2		報収集活動をさせる。	(観察・発言)		
	7	・教材文を読み、大まかな手順をつかむ。 ※リレー読み、自由読み ・詳しく知りたいことや疑問に思ったことを話し合う。 ・テーマを選び、選んだ訳をメモする。 ※自由読み		・要点を絞って書き写している。 (ノート)	・素早く判読 伝達性の高い 視写をしている。 (観察・ノート)
	8	・テーマに沿って情報を集める。			
	9	・集めた情報を交流する。 ※自由読み、部分読み			
	10	・集めた情報を取捨選択する。 ※自由読み			
第3次 レベル 3	11	今までの学習を基に、調べたことを発表原稿にまとめさせる。	・伝える意識を持ち、発表原稿を書こうとしている。 (観察・ノート)	・中心を明確にし、段落のつながりを考えて文章を書いている。(ノート)	・指示語、接続語、文末表現の役割を理解している。 (ノート)
	12				
	13	・はじめ(話題提起) 終わり(まとめ、感想)を段落に分けて書く。 ※自由読み			
	14	・清書する。 ※自由読み			
	15	相手意識を持った発表を聞き合い、食べ物に関する興味や知識を広げさせるとともに、成就感を味わわせ今後の意欲につなげる。	・相手意識を持って発表しようとしている。 ・意欲的に感想を述べている。 (観察・発言)	・話の中心に気をつけて聞き、感想をまとめている。 (発言・観察) ・内容、響きを考えながら読んでいる。 (発表)	・適切な音量、速度、言葉遣いをしている。 (発言・観察)
16	・「食べ物発表会」を開き、感想交流をする。 ※(指名読み)				
	17	・学習のまとめをする。(教材を再読、自己評価) ※自由読み、リレー読み			

7 本時の指導

(1) 目標

(関心・意欲・態度)

○大豆をおいしく食べる工夫に興味を持ち、意欲的に読み取ろうとする。

(能力)

◎中心となる語や文、段落相互の関係に注意して読み、大豆をおいしく食べる工夫の書き方の効

果を理解することができる。

◎述べ方、伝え方を意識して音読することができる。

(言語についての知識・理解・技能)

○接続語、指示語、文末表現の役割を理解し、段落構成の効果と関連づけることができる。

(2)指導にあたって

前時までに段落ごとの要点を基におおまかな全体構成をつかんでいる。前時は「はじめ」と「終わり」の段落の役割と効果をとらえる学習をしている。本時は「中」(中心となる説明の段落)の書き方の工夫を中心に読み取っていく。その手だてとして抽出文の音読をし、段落の順番や段落に共通する語句に着目させ、解説的な説明文の特徴をとらえさせながら効果を探っていきたい。

「深める」段階では、挿絵等を活用したプレゼンテーション的な音読活動を取り入れ、述べ方・伝わり方の効果を確認させ、次時以降の「書くこと」の学習につなげたい。

(3)本時における音読活動のねらい

つかむ ・自由読み →全文を速読し、前時の想起をさせる。

考える ・リレー読み→段落を意識し、それぞれの説明の筋をとらえさせる。

・唇読み →重要な語句、表現を見付けさせる。

・役割読み →重要部分に注目させる。

深める ・ペア読み →述べ方、伝え方を評価し合いながら練習させる。

・指名読み →述べ方、伝え方を意識した音読を聞き合い効果を確認させる。

まとめる ・自由読み→学習の成果をたしかめながら、自分のペースで練習する。

(4)展開

段階	学 習 活 動 ○主発問 ・期待される子どもの反応 ※音読活動	・支援と●評価 【評価方法】
つ か む 5 分	1 前時の想起 (1)文章構成を確認する。 ※自由読み 2 課題把握 大豆をおいしく食べるくふうの書き方のじゅんじょに気をつけて読もう。	・ワークシートを基に、全体構成と「はじめ」「中」「終わり」の役割を確認する。
考 え る 15 分	3 課題解決 (1)段落③～⑦の順序について考える。 ○なぜこの順序で説明しているのだろう。 ・説明しやすい順番だから。 等 ・作り方が簡単な順番。 ※リレー読み (2)段落ごとの説明のしかたを比べる。 ○どの段落にも共通している書き方はどんなことでしょうか。 ・「くふう」という言葉がある。 ・大豆食品の作り方が書いてある。 ・おいしく食べる工夫、食品の作り方の説明の順に書いてある。 ※唇読み、役割読み	・段落の書き出しや接続語に着目させ、分かりやすい姿の変え方から始まり、特別な例を最後に説明していることに気づかせる。 ・「くふう」を含んだ文と大豆食品名を含んだ文を分けて読ませ、書き表し方のパターンをつかませる。 ●それぞれの段落の内容と書き方の工夫を理解↓している。【発言】 ・板書を手がかりに説明の順序を復唱させ、同じパターンの説明が繰り返されると、読み取りやすくなることに気付かせる。
深 め る 10	(3)説明の書き方に気をつけ、内容が伝わるように工夫して音読する。 ※ペア読み、指名読み	・2人組で本文の音読と挿絵や動作化による補助とを分担させる。 ●大切な語句を意識した音読や、挿絵や板書を↓活用することの効果をとらえている。 ・友達の評価を参考に発表を聞き直したり、発

分		表練習をさせたりする。
ま	4 学習のまとめ	・自分が文章を書くときの参考になることを意識してまとめさせる。
と	(1) 学習の成果をノートにまとめる。	
め		
る		
15		
分	具体的評価規準 【ノート・発表】 A：中心となる説明の書き方の工夫を正しく読み取り、自分が文章を書くときの参考になることを意識したまとめかたをしている。 B：中心となる説明の書き方の工夫を正しく理解したまとめかたをしている。 Cへの支援：友達の発表や板書を基に書き方の工夫点をまとめる。	
	(2) まとめの音読をする。 ※自由読み、	
	(3) 自己評価をする。	・次時につながる活動ができたことを評価し、学習の見通しを持たせ、意欲化を図る。
5	次時の予告	

(5) 板書計画

<p>まとめ (例)</p> <p>せつ明を分かりやすくするために、段落のまとめ方やじゆんじよが大切だと分かった。</p> <p>自分も一番先にせつめいするものはだれでも知っている物からとりあげたい。そしてさいごの段落はだれも気がつかないような物をのこしておいてびつくりさせたい。</p> <p>さし絵もあった方が分かりやすい。</p> <p>等</p>	<p>写 真</p>	<p>か 題</p> <p>大豆をおいしく食べるくふうの書き方の順序に気をつけて読もう。</p>	<p>すがたをかえる大豆</p> <p>国文 牧衛</p>																																												
	<table border="1"> <tr> <td>⑨</td><td>⑧</td><td>⑦</td><td>⑥</td><td>⑤</td><td>④</td><td>③</td><td>②</td><td>①</td><td>段落</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>はじめ</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>中</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>終わり</td> </tr> </table>	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落	□	□	□	□	□	□	□	□	□	はじめ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	中	□	□	□	□	□	□	□	□	□	終わり	<p>中 (中心となるせつ明)</p> <p>・ 分かりやすく 段落のじゆんじよ ↓ 分かりやすいものから (いり豆、に豆、…)</p> <p>段落の内よう ↓ 同じパターンでせつ明 (くふう、食品名と作り方)</p>	<table border="1"> <tr> <td>書き出し</td> <td>小見出し</td> </tr> <tr> <td>いちばん分かり、次にまたさらにこれらのほかに</td> <td>するくふう (いる・にる) (ひく) (すりつぶす・…)(くわえる・…)(とりいれる・…)</td> </tr> </table>	書き出し	小見出し	いちばん分かり、次にまたさらにこれらのほかに	するくふう (いる・にる) (ひく) (すりつぶす・…)(くわえる・…)(とりいれる・…)
⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落																																						
□	□	□	□	□	□	□	□	□	はじめ																																						
□	□	□	□	□	□	□	□	□	中																																						
□	□	□	□	□	□	□	□	□	終わり																																						
書き出し	小見出し																																														
いちばん分かり、次にまたさらにこれらのほかに	するくふう (いる・にる) (ひく) (すりつぶす・…)(くわえる・…)(とりいれる・…)																																														